

まつしろなページがいちまい、なにか不安な

月光、まつしろな本

つづらをるやまぢあせとほこりと

とにかくしけんすんで白雲見てゐるつかれ

しけん上氣した目に松の木にしぐれてゐる

そろそろ寒くて窓をしめよう阿蘇まつくろに横たはり

いっとなく日向ぼこする今日となりぬ

古寺の静けさ夏や蓮の花

名月をうつせる池や水馬ミヅウマ

硝子戸にちぎれ雲飛ぶ野分かな

ふるさとの香りなつかし青蜜柑

理二ノ三

甲

斐

幹